

平成29年度 認定こども園 童和こども園事業報告

社会福祉法人 童和福祉会

1 幼保連携型認定こども園「認定こども園 童和こども園」の運営

(1) 概要

認定こども園とは

- 親の就労の有無にかかわらず施設利用が可能に。
- 適切な規模の子ども集団を保ち子どもの育ちの場を確保。
- 既存の幼稚園の活用により待機児童対策を推進。
- 専業主婦家庭への支援を含む地域子育て支援が充実。

幼稚園と保育所については、近年、保護者の就労の有無で利用する施設が限定されてしまうことや、少子化が進む中、幼稚園と保育所が地域に別々に設置されていると子どもの成長に必要な規模の集団が確保されにくいこと、子育てについて不安や負担を感じている保護者の方への支援が不足していることなどの課題が指摘されており、制度の枠組みを越えた柔軟な対応が求められています。

幼稚園と保育所の良いところを活かしながら、その両方の役割を果たすことができるような新しい仕組みを創るため、平成18年に「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が制定され、「認定こども園」がスタートしました。

「認定こども園」は、幼稚園や保育所などのうち、次の2つの機能を備える施設を、兵庫県知事が認定し、認可を受けました。

①保護者が働いている、働いていないにかかわらず就学前の子どもを受け入れ、幼児教育・保育を一体的に提供する機能で、これにより、待機児童の解消や、子どもの育ちに大切な集団規模が確保できます。

②地域の子育て家庭を対象に、相談活動や親子の集いの場などを提供し、子育て支援を行う機能で、育児不安の大きい専業主婦家庭などへの支援の充実が図られます。

このように、「認定こども園」は、幼稚園と保育所の良いところを活かしながら、その両方の役割を果たすことができる施設です。

(2) 所在地

養父市八鹿町八木1482番地

(3) 定員 40名

(4) 在籍園児数 (3 / 31)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
7名	11名	11名	12名	12名	7名	60名

- (5) 職員数 15名
(正規職員11名、嘱託1名、パート2名、パート事務1名)

- (6) 事業年度
平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 保育目標

- (1) 「生命尊重 おもいやり 感謝」
 (1) 命の尊さを知り、命を大切にする子ども
 (2) 人を思いやり、人を大切にする子ども
 (3) あいさつ「おはよう・ありがとう・ごめんなさい等」が素直にできる子ども

めざす子ども像

『個性豊かに、伸び伸びと、明るい子ども』

- (2) 入所児童は、保護者との接触の機会に恵まれないので、本園においては、児童の精神的安定を図ることを主目標とし、清潔の躰、規律ある生活習慣の体得を図る。

- (3) 開園時間

午前7時～午後7時

早朝時間 午前7時～午前8時

延長時間 午後6時～午後7時

- (1) 1号認定子ども
8時～14時（14時以降は希望により預り保育を行う。）
 (2) 2号・3号認定子ども
 保育標準時間 7時～18時（18時以降は希望により延長保育を行う。）
 保育短時間 8時～16時（16時以降は希望により延長保育を行う。）

- (4) 教育・保育内容

デイリープログラム（日課）については、児童の年齢に応じ幼保連携型認定こども園教育・保育要領また、養父子認定こども園（就学前）教育・保育ビジョンに基づき、保育教諭と園長が協議して定めるが、おやつ支給、お昼寝等は0歳児から4歳児には必ず含まれるよう配慮する。

全体的な計画及び教育課程、長期の指導計画及び短期の指導計画については、職員会議で協議の上定める。毎月の職員会議及び園内研修、毎日の反省会及び報告会を

実施する。

(5) 教育・保育担当職員、他職員

担当保育教諭を定め、園長は総括的指揮を執ることとする。

職名	氏名	備考
園長	西本 厚文	
主幹保育教諭	坂中 ゆかり	
保育教諭 (リーダー)	半井 由梨子	
保育教諭	鴨谷 輝子	5歳児
保育教諭	梶原 ももこ	4歳児
保育教諭	小佐 真理子	3歳児
保育教諭	中川 由起子	2歳児
保育教諭	高品 栞	2歳児
保育教諭	中西 明華里	1歳児
保育教諭	西垣 由美	0歳児 (6/1~)
保育教諭	西本 厚子	0歳児 (5/31 退職)
保育教諭	森木 理恵	フリー
保育教諭	小谷 純子	フリー
保育教諭	小野山 浩子	フリー
調理師	西本 信子	
事務員	山根 ゆかり	パート

その他 (嘱託医)

嘱託医 (内科)	日光診療所 森田 龍親 先生
嘱託医 (歯科)	井上歯科 井上 博之 先生
嘱託薬剤師	谷 教之 先生

3 運営方針 (教育・保育理念)

『目に見えるものより、目に見えないものをたいせつに』…心を育てる

- (1) 人格を持った一人の素晴らしい人間として尊重され、子ども達の人生を思う教育・保育を行う。
- (2)
- (2) 認定こども園と家庭との絆を強く、子ども達が「安心安全」の中で一人の人間としての基礎を培うよう努める。

4 保育方針

- (1)

○人的環境を大切にし、将来より良い人間関係が築けるように育てる

- 心を育てる「目に見えるものより、目に見えないものを大切に」
- 子ども達が主体となり、豊富な体験をする
- させる教育・保育でなく、子ども達が自らする教育・保育であること
- 家庭の延長線上の位置づけとしてあること
- 日々、子ども・保育教諭者・保護者の人間関係を重視する
- 一人ひとりの子どもが日々保育教諭者の愛情に包まれ、幸せを感じる教育・保育を行う
- 縁あって出会った大切な素晴らしい子ども達であるという事の自覚
- 子ども、保育教諭者、保護者が共に育つ場所であること
- 保護者の「育児・子育て」の相談場所であること
- 子ども達の「生きる力」を幼児期に培う

(2)

年間行事計画

4月	1日：入園式、養父市消防大会参加、花まつり
5月	子どもの日の集い、春の親子遠足、母の日の集い
6月	健康診断①
7月	七夕まつり、プール開き、歯科検診、夏のまつり（おじいちゃん・おばあちゃんとの集い）
8月	お盆にちなんで
9月	うんどう会
10月	秋の遠足
11月	4日：参観日・講演会、健康診断②、交通安全教室
12月	発表会、防火餅つき、お楽しみ会
1月	お正月遊び
2月	節分、おじいちゃん・おばあちゃんとの集い「交通安全・防犯餅つき（養父警察署と）」
3月	ひな祭り会、交通安全教室、お別れ会、卒園式
<p>◇毎月：避難訓練・防犯訓練・交通安全指導・礼拝・お寺参り 幼児クッキング（月2回）・お誕生日会</p> <p>◇「幼年消防クラブ」「交通安全クラブ」年間計画に基づき活動</p> <p>◇まちの子育てひろば「ふれあいさろん パンダ」</p> <p>◇延長保育事業、乳幼児子育て応援事業、一時預かり</p> <p>◇障害児保育：希望があった場合、積極的に教育・保育を行う。特別という概念でなく、通常の教育・保育の中で一人の人間として尊重される環境で実施するよう努める。（保護者・行政・医療機関等の指導のもと、連携を図り良い関係を築く）</p> <p>◇園庭解放・日々の参観はいつでも</p> <p>◇月毎の「園だより」「クラスだより」でお知らせ</p>	

(3)

環境整備

1. 老朽化による衛生面・環境面での改善を行うため、調理室全体の改修工事を行いました。(クリーニング・既存設備の配置替え・パネル貼り・設備の新設等)
2. 劣化門扉の取替を行いました。
3. 感染症予防対策として、次亜塩素酸空間清浄機を 29 年度は 4 台導入しました。

5 実習生・中高生の受け入れ

次世代の保育教諭者が増え、育つためにも積極的に受け入れを行う。
ボランティア、中学校「トライやるウィーク」、高校「職業体験」、
短大・大学「教育実習」、福祉体験学習事業の受け入れ。

6 職員育成と研修計画

- (1) 主幹保育教諭と担当保育教諭が、園内研修の企画・提案をし実施する（毎月）
- (2) 危機管理・安全対策・個人情報漏洩などの研修にも取り組む
- (3) 関係機関（県・市・保育協会・社会福祉協議会等）の研修会に参加する
- (4) 自身の振り返りと反省・課題を見出すため、自己チェックリストを行い、自己の質の向上に繋げる
- (5) 講師を招いての研修会を実施し、質の向上に繋げる
(29 年度：5 月・7 月・11 月、保育参観後（11/4）、年 4 回計画実施)
- (6) 毎日の反省・報告会を行い、日々を振り返り明日へと繋げる

7 今後の具体的計画

1. 積極的に研修会への参加を実施し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解と知識を深めると共に、保育士の質の確保と向上させる仕組みとして、保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築に努め、自園のレベルアップに繋げる。
2. 29 年度園内研修の取組みとして、年 3 回講師の先生をお招きし、毎月の園内研修の重要性と課題を知り解決できるよう園内研修の見直しと改善を図り、職員の質の向上と園のレベルアップに繋げる。
3. 毎日の反省報告連絡会を 2 班に分けて行い、その日の報告・反省を通して協議すべき所は協議し、職員とのコミュニケーションの場と翌日の日案報告を兼ねて明日へと繋がるよう重視し行う。
4. 0 歳から 5 歳までの子どもが在園し異年齢交流が豊富になるが、特に 5 歳児は小学校へ就学となる為、就学前教育・保育を重視し、小学校との連携等これまでよりも更に密な関係が作れるよう、連絡・協議を行い計画をたて実施する。